

SSL-JVC75

7.4V/7350mAh Lithium Ion Battery for JVC

取扱説明書

Lithium Ion

このたびは、SSL-JVC75をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用に際しては本書をよくお読みいただき、基本的な取扱い方法や注意事項をご理解された上で、安全にお使い下さい。お読みになられた後は、いつでも見られるところに必ず保管して下さい。

安全にお使いいただくための注意

本バッテリーは取扱いを誤りますと、破裂・発火・発煙・発熱・漏液の恐れ、または性能低下や故障の原因となりますので、下記の禁止および注意事項を必ず守って下さい。

⚠危険：死亡や重傷を負う危険が切迫して生じることがあります

- 充電は機器本体又は専用充電器以外使用しないで下さい。
- 本バッテリーを指定された機器以外で使用しないで下さい。
- 端子間を金属類でショートさせないで下さい。また、金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないで下さい。
- 火の中に投げたり、加熱しないで下さい。
- 水、海水、飲料水などで濡らしたり、水中に投げないで下さい。
- 車内や炎天下など、60℃以上の高温になる場所に放置しないで下さい。また、使用温度範囲を超えた環境で使用、保管をしないで下さい。
- 端子に直接半田付けしないで下さい。
- 分解したり改造したりしないで下さい。
- 落下させたりハンマーで叩くなど、強い衝撃を与えないで下さい。また、重いものを載せたり、圧力を掛けないで下さい。
- 鋭利なもので刺したり、傷つけたりしないで下さい。また、損傷が著しい場合は使用しないで下さい。
- 腐食環境（塩害、海水、酸、アルカリ、腐食ガス等）では使用しないで下さい。また、極端な高温環境でも使用、保管しないで下さい。

⚠警告：死亡や重傷を負う危険が生じる可能性があります

- 高温や高負荷で使用した後は、ケースが熱くなることがありますので注意して下さい。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、直ぐに充電を中止して下さい。
- 充電や放電中に異臭を発生したり、異常な発熱や変色、変形など通常と異なる症状が見られる場合は、直ぐに使用を中止して下さい。
- バッテリーから漏液したり異臭がした場合は、直ぐに火器より離して下さい。
- 万一、漏液した液が皮膚に付着した場合は、直ちに石鹸を使用して水で十分に洗浄して下さい。
- 万一、漏液した液が目に入った場合は、擦らず直ちにきれいな流水で15分以上洗浄し、医師の治療を受けて下さい。

⚠注意：けがや物品損害が生じることがあります

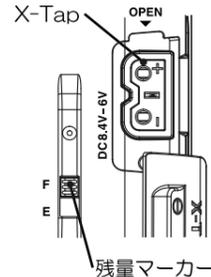
- 必ず指定の充電/放電条件を守って下さい。
- 涼しく乾燥した場所で保管して下さい。
- 長時間使用しない時は、機器から取り外して下さい。
- 帯電物や静電気の発生する場所に接触、接近させないで下さい。
- 端子は、常にきれいな状態で使用し、汚れや異物が付着したら乾いた布で拭き取って下さい。

放電

- 最大放電電力は、バッテリーコネクタが21W、X-Tapが20Wであり同時使用が可能です。ただし高温環境下で同時出力する時、X-Tapの負荷が20W以下であっても電池内部が高温になり温度保護が作動した場合は放電を停止しますのでご注意下さい。
- 一般的に、消費電力が大きくなると使用時間は短くなります。低温では放電特性が低下し使用時間が短くなります。高温ではバッテリーを劣化させる恐れがあります。
- 放電は6Vまで使用できます。6V以下では放電を停止します。
- 出力5W以上のトランシーバーなどを使用する場合には、極力バッテリーから遠ざけて下さい。電波の影響を受けて放電が停止することがあります。

[X-Tap]

- 本バッテリーにはX-Tapがあり、バッテリー電圧をスルー出力(8.4V~6.0V)します。
- 最大出力は20Wです。
- 充電中はX-Tapを使用しないで下さい。充電器によっては充電が完了しない場合や充電エラーが発生したり、破損する場合があります。
- X-Tapでは充電しないで下さい。



[残量マーカー]

- 手動でスライドさせる残量マーカーです。充電後はFに、使用後はEにスライドさせることによりバッテリーの状況がわかる目印としてお使いいただけます。

保管

- 涼しく乾燥した場所で保管して下さい。
- 60℃以上では保管や放置をしないで下さい。
- 長期保管するときは充電容量を20~30%程度にして保管して下さい。

寿命

- 使用頻度が多くなると、満充電しても使用時間が短くなります。このような時はバッテリーの寿命が近づいています。
- 寿命となる時期は、使用頻度、使用状態、保管状態などにより異なります。
- 一般的に、使用頻度が多いほど、高負荷で使用するほど、高温で使用や保管するほど、満充電での長期保管などでは、寿命が短くなります。

仕様

- 使用電池：リチウムイオン二次電池
- 公称電圧：DC7.4V
- 容量：7350mAh/55Wh*
- 充電電圧：DC8.4V/最大DC8.5V (0~45℃)
- 充電電流：標準2.5A/最大3.5A (10~45℃)
- 最大放電電力/電流
バッテリーコネクタ：21W/3.5A
X-Tap：20W/3.3A
同時出力の場合：41W (35℃以下)*2
：36W (35~45℃)*2
- X-Tap出力電圧：バッテリー電圧(8.4V~6.0V)
- 放電終止電圧：6.0V
- 保護機能：過充電、過放電、過電流、温度保護
- 使用温度：充電 0~45℃ (推奨10~30℃)
放電 -20~45℃ (推奨10~35℃)
保存 -20~50℃ (1ヶ月)
- 外形寸法：43 (W)×80.5 (H)×70.4 (D)mm
- 質量：約350g
*1.弊社の容量表記は20℃時のミニマム表記です。
*2.バッテリーコネクタとX-Tapを同時出力する時は放電電力と温度にご注意下さい。電池内部が高温になり温度保護が作動した場合は放電を停止します。

出荷状態

- 出荷時の充電状態は約30%ですが、ロットや在庫期間によっても変わってきます。

バッテリーのリサイクルについて

リチウムイオン電池はリサイクルが可能です。不要となったバッテリーは、端子を絶縁テープなどで絶縁しリサイクル協力店に備え付けのリサイクルボックスに入れていただくか、弊社までご連絡下さい。充電式電池のリサイクル、リサイクル協力店については、一般社団法人JBRCをご参照下さい。

(<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>)

リチウムイオン電池の航空輸送規制について

(2014. 1. 1改定)

本バッテリーは、国際民間航空機関 (ICAO) 並びに国際航空運送協会 (IATA) の航空危険物規則に規定される危険物 (Class9) の対象となりますので、運送時には所定の手続きが必要となりますが、輸送数量によっては危険物除外となる場合があります。

- ICAO並びにIATAの航空危険物規制に関して
規則・国連危険物輸送勧告テストに合格していること
・ワット/時定格が100Wh以下のもの
・ワット/時定格がバッテリーに表示されていること

本バッテリーは、国連危険物輸送勧告テストに合格しています。バッテリー容量は100Wh以下で製品ラベルに表示しています。

バッテリーの機内持ち込み

運航者の承認を必要とせず機内持ち込み手荷物として航空機に持ち込むことができますが、航空会社によって対応が違う場合がありますので事前に利用する航空会社にお問い合わせすることをお勧めします。

バッテリーを機器に取り付けている場合は受託手荷物あるいは機内持ち込み手荷物のいずれかに入れて輸送が出来ます。予備電池は機内持ち込み手荷物に入れて持ち込むことが出来ますが、バッテリーの端子をテーピングする個々にビニール袋に入れて絶縁して下さい。受託手荷物として預け入れは出来ません。手荷物の総重量、サイズ、個数など航空会社によって規定がありますので事前に航空会社にお問い合わせください。

貨物輸送

◆電池単体輸送の場合 (PI965 Section II)

1梱包内に本バッテリーを2個までであれば危険物適用除外として通常輸送が可能です。この場合、梱包容器が1.2mの落下試験に適合していること※、リチウムイオン取扱注意ラベルの貼付、危険物除外申告書を輸送会社に提出する必要が有ります。

◆電池単体輸送の場合 (PI965 Section I.B)

1梱包内に本バッテリーを3個以上、かつ梱包総重量が10kg以下の場合危険物 (Class9) 輸送が必要です。但し、この場合の梱包は包装等級IIに適合する必要はなく、1.2mの落下試験に適合した通常の強固な包装物で輸送が可能です。輸送には、リチウムイオン電池取扱注意ラベルとClass9危険物ラベルの貼付、"UN3480 Lithium ion Batteries" と荷発送人、荷受人の名前/住所を表記し危険物申告書の提出が必要です。

◆電池を機器と同梱して輸送の場合 (PI966 Section II)

本バッテリーを機器同梱で輸送する場合で、1梱包内のバッテリー合計質量が5kg以下の場合危険物除外として輸送が可能です。この場合、バッテリー単体梱包若しくは同梱梱包で1.2mの落下試験に適合していること※が必要で、包装物にはリチウムイオン電池取扱注意ラベルの貼付と危険物除外申告書の提出が必要です。1梱包内に入れることができるのは機器を動作させるための最小個数とスベア2個までです。

◆電池を機器に組み込んで輸送の場合 (PI967 Section II)

本バッテリーを機器に組み込んで輸送する場合で、1梱包内のバッテリー合計質量が5kg以下の場合危険物除外として輸送が可能です。リチウムイオン取扱注意ラベルの貼付と危険物除外申告書の提出が必要です。包装物の落下試験は不要です。強固な包装物の中に機器に装着された状態のバッテリーが2個以下の場合は、リチウムイオン取扱注意ラベルと危険物除外申告書は不要です。※本バッテリーは集合梱包状態での落下試験に合格していますが、バッテリー単体梱包 (個装箱) での試験は実施しておりませんのでご注意ください。上記に適合しない場合はすべて危険物 (Class9) 輸送の対象となります。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

使用後はリサイクルへ



I・D・E 株式会社 アイ・ディー・エス 本社：〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原6-28-11 Tel:044-850-8801 Fax:044-850-8838
Home Page:<http://www.idx.tv> E-mail:idx.japan@idx.tv
※仕様および外観は予告なく変更することがあります。※製品および製品保証に関するお問い合わせは上記の弊社営業部に受け付けております。BLMK130293-1